

折り梅

あるがままでいいと受けとめてもらえなければ
人はみな生きていけない

2002年カナダ・モントリオール世界映画祭参加
2002年東京国際女性映画祭参加
2003年香港国際映画祭参加

oriume

『ユキエ』の
松井久子監督作品

〔文部科学省特別選定〕
厚生労働省推薦

映画は
日本語字幕付き

舞台挨拶時に
手話通訳、
要約筆記あり

原作者の想い

上映後、原作者の小菅もと子さんの
トークイベントを開催します。お楽しみに。



原作者
小菅もと子

2025 年

9 月 13 日 土

相模原市立あじさい会館 1 階ホール

開場:12 時 45 分 上映:13 時 30 分

入場料

500 円

全席自由席
(定員 300 人・申込順)

ご予約・お問い合わせ

予約開始

8/19(火)

電話:042-759-3963

メール:info@sagamihara-ajisaikaikan.com

※メールの場合、件名に「上映会申し込み」、本文に
氏名(フリガナ)/電話番号 をご記入ください

令和7年相模原市認知症啓発映画上映会 実行委員会

〔文部科学省 厚生労働省 特別選定 推薦〕

高齢者となるすべての人間が観るべき映画です。吉行和子は立派です。

おすぎさん(映画評論家)

映画を観なくなった中高年必見の映画。吉行和子の美しくも哀しい痴呆ぶりに涙涙。

ピーコさん(服飾評論家)

実の母と違い、義母には同性としての違和感がつきまとう。

それをのりこえるヒロインを原田美枝子がさすがしく演じている。

田中千世子さん(映画評論家)

それは、ある日突然、平和な家庭にふりかかった……。

名古屋郊外のベッドタウン、愛知県豊明市。サラリーマンの夫・裕三とパート勤めの妻・巴、中学生と小学生の子ども二人の4人家族に、夫の母・政子が同居することになった。ところが同居して間もなく、政子に変調をきたし始める。

雑巾を縫ってはそれを忘れてしまい、毎朝、巴に雑巾を渡す。

かと思えば、突然激昂し、巴が政子のためにつくったお弁当をぶちまける。

巴は嫌がる政子を病院に連れて行き、そこで政子は認知症と診断される……。

『折り梅』は、義母が認知症になったことで、崩壊しかけた家庭が、

さまざまな葛藤を経て、見事に再生した実話を通して、人間の無限の可能性を描いた感動作である。

その過程と思いがけない展開は、見る者に素晴らしい希望を与えてくれることだろう！！

『ユキエ』の 松井久子 監督作品

折り梅

oriume



『ユキエ』から広がったネットワーク。

作り手と観客が一体となって、1本の映画が完成！

初監督作『ユキエ』で、アメリカ人の夫とアルツハイマーに冒された妻との強い絆を描き、高い評価を受けた松井久子監督。『ユキエ』の自主上映会は全国で600回以上を数え、それにより松井監督と人々との直接の交流が各地で広がった。監督が本作の原作「忘れても、しあわせ」(日本評論社刊)の著者・小菅もと子さんと出会ったのも、『ユキエ』上映会の席。映画化を希望した監督を後押しするかたちで市民運動が盛り上がった。小菅さんの住む愛知県豊明市の市民たちが映画製作実行委員会を結成し、さらに愛知県犬山市を中心に『折り梅』応援団が組織されるなど、熱いネットワークが全国規模で展開。こうして資金集めから撮影協力まで、作り手と観客が一体となり1本の映画を作り上げるという快挙を成し遂げた！

演技派・個性派たちが集結！

等身大のリアルな熱演に誰もが共感！

夫の母の変化に戸惑い、苦しむ妻・巴を演じるのは、『愛を乞うひと』で映画賞を総なめにした原田美枝子。認知症の義母との関わりを誠実に模索する嫁をリアルに演じている。一方、認知症に見舞われ、自分を失っていくことへの恐怖から巴に苛立ちをぶつける義母・政子に、舞台・映画のベテラン・吉行和子。二人の等身大の存在感がドラマにリアリティをもたらし、観るものの胸を打つ。この他、朴訥な個性が光るトリーズ雅、多方面に活躍する加藤登紀子など、多彩な演技陣が、作品に独特の魅力を添えている。



「折り梅」オフィシャルサイト
www.oriume.com

推薦

(社)日本PTA全国協議会 (財)さわやか福祉財団 (財)ほけ予防協会
(社)果け老人をかかえる家族の会 特定非営利活動法人 全国高齢者ケア協会
新老人の会 あらゆる障害者の交流を目的とする市民の会
日本生活協同組合連合会



相模原市立あじさい会館
〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20

JR横浜線「相模原」駅南口から徒歩20分
JR相模原駅南口バスのりば/小田急相模大野駅北口バスのりば
●神奈川中央交通バス「市民会館前」下車すぐ
●神奈川中央交通バス「市役所前」下車徒歩1分
小田急相模大野駅北口バスのりば
●神奈川中央交通バス「警察前」下車徒歩5分

※当施設は駐車場のご用意がございません。誠に恐れ入りますが、公共交通機関でお越しいただくか、お近くのコインパーキングをご利用いただくようお願いいたします。【後援】社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会

例年、市民の皆様は認知症の方に対する理解を育んでいただくことを目的に映画会を開催しています。是非ご覧ください。

【共催】相模原市若年性認知症家族の会「じゅりの会」
・ふじの介護者の会
・相模原市立あじさい会館
(指定管理者: ギオン・アクティオ・コンティグループ)
・相模原市 地域包括ケア推進課 在宅医療・介護連携支援センター
【後援】社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会

